

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像 「**気づき 考え 行動する**」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

めざす学校像

基本理念【ひとりの生徒を 粗末にしたとき 教育は その光を失う】

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 清潔で花いっぱい学校
- (5) 地域とともに歩み、信頼される学校



新年度が始まり、3週間が過ぎようとしています。1年生は学校生活にも慣れ、学習と部活動の両立に向けて一生懸命取り組んでいます。また、2・3年生も学習、部活動そして校外学習に向けての準備等、限られた時間の中で精一杯取り組んでおります。ただ、少しずつ疲れが出る時期、体調管理を含めてご家庭でも注意してください。

さて、本校の生徒達は全体的には、挨拶ができると思います。さらに、社会に出たときに困らないためにも下記の文を掲載させていただきました。ご家庭であらためて、「挨拶」について話題にあげていただけると幸いです。

「あいさつの力を知る」

人と人との触れあいも対話も、あいさつから始まります。もちろん、ビジネス場面でもあいさつは重要「あいさつもロクにできない」といわれるのは、ビジネスパーソン失格の烙印を押されたに等しい、



といってもいいと思います。あいさつは自分から大きな声です。誰もがわかっているようで、じつはこれがあまり励行されていない。口のなかでごもごも「おはよお・・・」なんていつていることが多いものです。打てば響くという言葉がありますが、こちらから気持ちよくあいさつすれば、相手も気持ちがよくなって、言葉も心も響き合うのです。気持ちがこもっていないと、響きようがない。あいさつは漢字で「挨拶」と書きますが、これはもともと禅語です。漢字の「挨」も「拶」も「押し合う」ということです。禅僧がおたがいに押し問答をするなかで、心のなかを推しはかり、相手の悟りの程度を知ろうとする、というのがその本来の意味なのです。このことから、あいさつが心に働きかけるものだということがわかりますね。

あいさつのポイントがもうひとつあります。それは「形」。気持ちのいいあいさつの言葉は、形が整うことで所作として完成されるのです。「和顔」というのは、穏やかでやさしい表情のことですが、これがもっと大事。和顔は言葉にいつそう力を与えます。

対句となっているのが、「愛語」で、通常は「和顔愛語」の四字熟語として使われます。穏やかな表情になれば、言葉も自然に相手に対する親愛を感じさせるものになる。言葉はパワーを増すわけです。形でいえば、「語先語礼」という作法を覚えておくといいでしょう。つまり、相手をきちんと見て、まず「おはようございます」の言葉を述べ、そのあとに丁寧に頭を下げるのです。言葉とお辞儀を同時におこなうことより、言葉もはるかによく相手に伝わりますし、所作全体も綺麗。“ひと味違う”あいさつになります。

栞野俊明(住職)

『美しい人を作る「所作」の基本』より

新入生オリエンテーション終わる

4月10日(水)本校体育館にて、新入生オリエンテーションが行われました。

新入生に向けて、3年生が中心となって準備し、当日は本校の生徒会活動(各委員会)と部活動等について詳しい説明等を行いました。



